

イチゴ栽培でのIPM

～ 安全・安心なイチゴをお届けします！～



JAふくおか八女 いちご生産者：樋口賢治

1

●自己紹介●

樋口 賢治(31歳)

現在就農 7年目

IPM実践 7年目



●我が家の営農状況●

・農業従事者：4人
(私・妻・両親)

・経営内容：イチゴ(あまおう)23a
米・麦・大豆 6ha



2

イチゴの出荷先:JAふくおか八女(共販)

部会員数:549名

作付面積:122ha(21年産)

JAふくおか八女の安全・安心への取り組み

- GAPへの取り組み
- JA環境センターでの農薬残留分析
- JA環境センターでの土壌分析結果に基づく施肥設計
- 生産管理履歴システム(トレースナビ)の導入



3

施設栽培イチゴでの主要な病害虫



ハダニ



ガの幼虫



うどんこ病



アフラムシ



アザミウマの被害



灰色かび病

4

カブリダニ類によるハダニの防除

ハダニがもっとも厄介な存在

- ・繁殖力が強い
- ・薬剤が効きにくい



天敵のカブリダニを利
用することで農薬に頼
らなくて良い



葉の裏に群がるハダニ



ハダニを食べている様子

5

コレンマンアブラバチによるアブラムシの防除

卵を産み付ける



天敵:コレマンアブラバチ

アブラムシから
羽化する



害虫:アブラムシ

アブラムシの体内
で孵化する



黄金色に変色

6

微生物を利用したうどんこ病・灰色かび病防除

有用な微生物を利用し、
うどんこ病・灰色かび病の感染を抑制

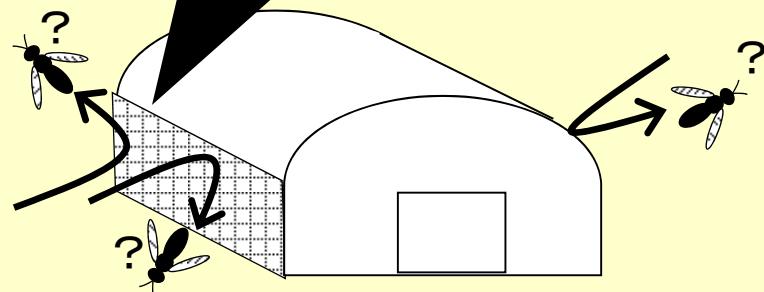


散布前
散布
(自動的に投入)

7

防虫ネットの利用

アザミウマ等の害虫の侵入を抑制



8

我が家のIPM

時期		栽培管理	病害虫管理
9月	中旬	定植	
10月	中旬	マルチ被覆	防虫ネット展帳
	下旬	ビニル被覆	
11月	上旬		コレマンアブラバチ放飼
	中旬		ミヤコカブリダニ放飼
	下旬	収穫開始	拮抗微生物利用(2月まで)
12月	:		
1月	上旬		チリカブリダニ放飼
2月	:		
3月	:		
5月	:	収穫ピーク	

9

IPMの実践効果

天敵放飼

簡単、快適、早い ☺



化学的農薬剤散布

きつい、暑い、時間がかかる



より安全・安心なイチゴ栽培を
確立できた

10

今後の目標 イチゴIPMのリーダーとして、産地を引っ張る！



9/7 八女地区いちご青年部 天敵研修会にて

安全・安心なイチゴをお届けします！

11

おわり

ご静聴ありがとうございました。

12